

上戸野花火準備
フォトギャラリー



10連発花火の打ち上げ筒



単発花火の打ち上げ筒



打ち上げ場所となる田んぼの周辺

※当日、会場での飲食物の販売などはない。

華やかなひとときをみんなで

ふくとみタイムズ



地元自治協の有志が企画

11月28日 上戸野地区で開催
コロナ禍 払う花火大会

コロナ禍で気持ちがふさがちな住民を元気づけたい。そんな思いを込めた小さな花火大会が11月28日夜、東広島市福富町上戸野地区である。同地区住民自治協議会の体育・文化部会と福祉・生活部会が主催。色とりどりの打ち上げ花火が初冬の夜空を彩る。会場は宅配料理「石川商店」付近。28日午後6時から約1時間、近くの田で約50発の花火が打ち上げる。打ち上げを手がけるイベント用品レンタル「レンタルほり」（東広島市高屋町）によると、10連発の花火2セットと単発の30発が用意される。主催者によると、打ち上げの時間帯は、付近の道路2か所が通行止めとなる。車で現地を訪れる人は、上戸野地域センターの駐車場が利用できるという。上戸野地区では今年、新型コロナウイルスの感染拡大で続くもやもや冬のショーで収束願う

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、夏祭りなどの地域行事や住民活動が軒並み中止や縮小に。感染予防のため地域センターに集う機会も減っている。こうした中、同地区自治協体育・文化部会部会長の松山康行さん（70）が花火大会の開催を提案。レンタルほりの前社長で、会場近くに住む堀江敏正さん（80）の協力も得て実現にこぎつけた。費用は、中止となった自治協行事の予算からやりくりするという。当初は11月2日に催す予定だったが、雨のため順延となっていた。堀江さんと共に打ち上げを担う同社社長の原元仁さん（39）は「空気が澄んだ冬の空の花火は一段と色鮮やかなんです」。松山さんは「また気兼ねなく集えるよう、みんなで花火を見上げてコロナ収束を願えたら」と話す。

アラフォー職員

きょーれんの最近の主な活動



「中国新聞セレクト」紙上で12月1日（火）から3日間、福富での活動をつづる連載が予定です。ぜひ中国新聞福富販売所、コンビニ（セブンイレブンを除く）でお買い求めの上、ご一読ください。※掲載日は後ろにずれる場合もあり。

★告知



◎コミュニティ農園 mikkeの整備作業（随時） 来春の本格始動を前に、しゃくなげ館前で少しずつ苗を植え付けています。町内の方々から苗をもらったり、機材を提供してもらったりして大感謝。整備を進めつつ、利用者募集のPR活動に入ります。

◎広島大学中山間地域・島しょ部連携特別講座のパネリスト（11月4日） オンライン講座で、生物生産学部などの学生たちに、福富での活動を話しました。

いもフェス盛況 共有農園着々と



コロナウイルスの終息を願って
花火大会
☆日時：11月28日（土）午後6時～約30分
☆場所：大渡 石川商店様前の河原
主催：上戸野地区住民自治協議会 体育文化部会・福祉生活部会

ふくとみタイムズ 第6号

編集：教蓮孝匡（東広島市地域おこし協力隊、こども農園mikke主宰、中国新聞契約記者）
連絡先：takamasan76@gmail.com / 090-6412-9543 ウェブマガジンmikkeはこちらから
ふくとみタイムズは福富支所、福富町内の各地域センターに置かせてもらっています。

